



万燈通信

平成30年5月31日発行

生徒会からの提案 あいさつあふれる休泊中

ーいじめのない学校、学級をつくるためにー

5月24日（木）5・6校時に、JRC登録式と生徒総会が行われました。

JRC登録式では、学級委員の登録や誓いの言葉の復唱など委員会の生徒が中心となって登録式を運営してくれました。その中で特に、JRCの精神である「気づき、考え、実行する」は、日常生活全てで基本となる精神です。例えば、本校の行動目標である「あいさつ、清掃、ボランティア」では、いつ、どんな場面で、どのようなあいさつをするのがいいのかに「気づき」、どこが汚れていて、どうすればよりきれいになるかを「考え」て清掃を行い、進んで人のため、社会のためになるボランティアを「実行する」のように、様々な場面に適用できます。

また、生徒総会では、議長を務めた3Cの中林君、鈴木さんのスムーズな進行により、前年度の活動や決算報告、本年度の部活動・委員会活動の計画等が速やかに採決されました。そして最後に、生徒会から次のような提案がされました。

- いじめのない学校や学級を作るために
SNSに頼り過ぎないコミュニケーション
- ・言いたいことは顔を見て
 - ・「おぜのかみさま」を守ろう

そして、生徒会本部役員さんが作成したパワーポイントにより、なりすましや無断で写真をネット上に掲載するなど具体的な事例を紹介し、SNSの危険性や正しい判断の必要性などを全校生徒に訴えました。

さらに、各クラスからの発表として、あいさつを活性化するために各学級で話し合った意見が発表されました。

以下、各学年より一部掲載いたします。

平成30年度 行動宣言！！

- いじめのない学校や学級を作るために
- に
- 相手と会話で繋がる
- ～SNSに頼り過ぎないコミュニケーション～
- ・言いたいことは顔を見て！
- ・「おぜのかみさま」を守ろう！

太田市立休泊中学校



生徒会本部役員が作成したパワーポイントの一部

- 1B
- ・「笑顔、大きな声、相手の目を見る」を心がける
 - ・クラスの中で、一日一人何回あいさつするかを決める。
- 2A
- ・当番制でクラスや部ごとに行う案。
 - ・あいさつ運動を主な活動とする委員会を設立する案。
 - ・クラスごとや部活ごとにあいさつを促すポスターをつくり、意識を高める案。
- 3C
- ・一人一人があいさつの大切さを理解し、生徒も先生も自らあいさつすることを意識する。



今後、生徒会本部を中心に話し合い、学校全体で取組を決定します。

生徒総会を通して提案された、いじめやSNSを通じた犯罪被害の未然防止、あいさつの活性化は、日頃より教員が生徒に呼びかけている内容と一致します。生徒と教員が気持ちをひとつにして、これらに真剣に取り組んでいきたいと思ひます。

ボランティア活動を通して、 奉仕の心と自己有用感、社会性を高めます

5月26日（土）は金山清掃が行われ、本校から18名の生徒が参加してくれました。活動は、SUBARUに勤務の方と一緒に金山の草刈りを行ったり、参加者に配布する花の苗を準備するグループに分かれて作業を行いました。山に自生した草やつるは生命力が強く、抜いたり鎌で刈ったりするのに苦労しました。また同日、毎月第4土曜に行われるくれよんの会による障がいをもったお子さんの水泳補助にも、34名の生徒が参加希望を出し、今回11名が参加してくれました。

ボランティア活動は、他の人や社会に貢献する奉仕の心を育てるとともに、自己有用感や他校・異年齢の人とのコミュニケーションを通して社会性を身につける良い機会と捉えています。今後も様々な活動に積極的に参加をして欲しいと思います。



金山清掃に参加した皆さん

全校集会 「夢はかなえるもの」

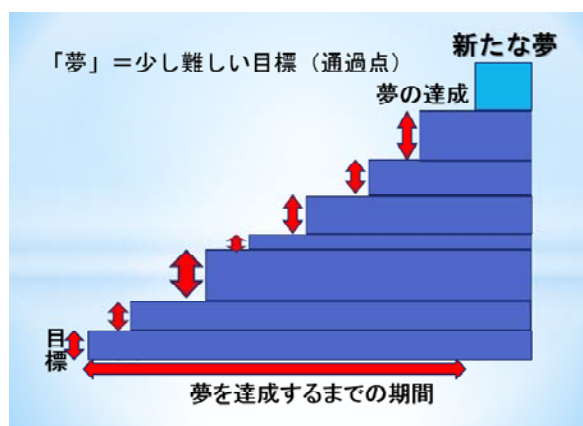
—目の前にある目標を1つ1つ達成していくことが大切です—

5月28日（月）は、全校集会があり、そこで、佐藤真海さん（2020年東京五輪招致のIOC総会時のプレゼンター、パラリンピック選手、小学校の道徳の資料にも掲載）の生き方を取り上げ、「夢はかなえるもの」という話をしました。

佐藤さんは、大学2年生の時、病気で右足の膝下を失います。しかし、その苦難に負けず、スポーツを通して目標を立て、次々にそれを乗り越えることで「夢」であったパラリンピック出場を果たし、その後も次の夢に向かって努力をしています。佐藤さんは著書の中で、「『夢はかなえるもの』と思いながら、私は目の前にある目標に向かって全力を尽くすことを考えた。一步一步、今できることを着実に。」と述べていました。

この言葉を紹介するとともに私（校長）からは、「小さな目標の積み重ねがいずれ大きな目標であった『夢』につながる。」だから、やることはシンプルです。「目の前にある目標に向かって、ただ頑張ることだけです。」と付け加えました。また、口の右側に+（プラス）、その下に-（マイナス）と書くと「吐く」という字になります。「吐く」という言葉は、弱音を吐く、不満を吐くなどマイナスのイメージがあります。そのマイナスの言葉を出さないように心掛けると、マイナスは取れ、なんて言う字になるか。「叶う」という字になります。何かに挑戦する時には、手のひらに「叶う」と書くと前向きな気分になれると思いますという話も紹介しました。他にも、休泊中の職員の中学時代の夢を紹介したところ、多くの教員が中学時代の趣味や目標が今の職業に関係しているということが分かりました。

中学3年間は、自分の将来の進路を拓く大切な3年間です。勉強を一生懸命やり学力を上げることは、将来の選択肢を広げることにつながります。また、得意なこと伸ばしたり、趣味を深く探求したりすることも、同様です。生徒の皆さんには、今、目の前にどんな目標があるか考え、その目標を少しずつ達成し、大きな目標に近づいてくれることを期待したいと思います。



全校集会のパワーポイントの一部